

風水害対策 Q&A

	Q	A	担当課
1	避難（施設内や避難所）で同じ部屋に大人数でいて不安定にならないか	認知症を含む、精神疾患、発達障害の状況によっては同じフロアに大人数で生活している状態はストレスになり不安定になる事もあります。その点は個別の対応となりますので、一度訓練としてそのような状況を作り、どのような環境や対応をすれば不安定な状態が緩和されるか確認する事が重要です。	しずおか福祉 BCM研究会
2	利用者の中には避難により不穩、拒否の可能性があるがどう対応したらよいか	避難しなければ命の危険がある場合には、不穩や拒否よりも避難を優先します。そうならない為にも事前に訓練を実施して慣らせておきましょう。事前に利用者のご家族等に確認しておくことも重要です。	しずおか福祉 BCM研究会
3	利用者が安定する為には	利用者さんそれぞれで安定する条件は違うと思います。環境（広さ、密集度、明るさなど）やこだわりの物品などを持ち出し品に加えるなど、個人の特性に配慮して対応しましょう。いずれにしても初めての環境は不安定になる事が多い為事前の避難訓練が重要です。	しずおか福祉 BCM研究会
4	避難に遅れた利用者の対応はどこまで行うか（時間差が出る）	避難の継続にリスクが伴う場合は、どのかのタイミングで中止するか、消防やレスキュー、自衛隊などに連絡し助けてもらう事になると思います。避難が送れ利用者さんが死亡した場合はのちのち訴訟にもつながりまますので、できるだけ早く避難を開始しましょう。	しずおか福祉 BCM研究会
5	搬送方法	風水害の場合には台風の接近や降水量の予測など高い確率で事前に予測できます。早めの避難の場合にはエレベーターの活用や車両による搬送ができる為、特に問題は無いと思います。避難が遅れたり、停電を伴う場合は担架が必要になりますので用意して頂くか、毛布など身近なもので避難できるように事前に訓練しましょう。	しずおか福祉 BCM研究会
6	避難所までの移動の手段	風水害の事前の避難の場合は、避難のタイミングが早く（警戒レベル3程度）避難経路にリスクが無い場合（冠水や土砂崩れが無い）には車両など通常の移動手段を使って良いです。ただし、避難のタイミングが遅くなり、既に冠水や土砂災害が発生している場合には、移動自体がリスクになる為、屋内安全退避（施設内の上階など）なども検討しましょう。平屋などの施設は屋内安全退避が難しい為早めに避難しましょう。	しずおか福祉 BCM研究会
7	2棟を一人でみているが1棟にまとめた方がよいか	利用者さんの安否確認など把握がしやすい場合には1棟にまとめる事も良いと思います。また、事前にシフトを調整して夜勤を2人体制にするなど対応している施設さんもありますので参考まで。	しずおか福祉 BCM研究会
8	避難時の持ち出し品について薬の保管、管理はどうするか？	薬は利用者さんの避難の前に持ち出し品に入れたり、施設が高い建物で上階へ移動することで被災のリスクを避けられる場合には、事前に薬や医療品だけ避難させておくことも重要です。また、薬の情報を持ち出し品に入れておくと被災後にスムーズに調達できます。地震など長期的に広域で影響を受ける場合には主治医に相談し1週間程度のローリングストックができるようにすることも一つです。	しずおか福祉 BCM研究会
9	避難場所の確立について	避難場所は立地のリスクや、距離、利用者さんの数や状態により変わります。ハザードマップを見て、安全な場所から利用者さんが安全に生活できる環境がある（可能な範囲で）場所を選びましょう。利用者さんにとって、また安全性から考えても一般の公的避難所も厳しい場合がありますが、同業の施設と協定を結んで避難する施設もあります、参考まで。	しずおか福祉 BCM研究会
10	避難場所の不安について	避難場所自体の不安に関してはハザードマップで安全確認することが第1となります。また、避難場所での利用者さんの不安や不穩などについてはNO3を参照下さい	しずおか福祉 BCM研究会
11	引継ぎの職員が来られない場合	既に災害が発生するなどして引継ぎの職員さんが来れない場合もあると思いますが、利用者を置いて職員が離れる事も出来ない為厳しい状況となります。風水害のピークを避ける出退勤の調整を行っている施設もあります。参考まで	しずおか福祉 BCM研究会
12	GHで職員が1名でケガ人が出て移動ができなかった場合	風水害の場合、事前に避難が可能なので職員がケガをする事は事前に避けることが可能かと考えます。万が一、一人しかいない職員が怪我をしてしまうと応援を呼ぶ以外の対応は無い為、事前の避難や備えが重要です。風雨のピーク時に職員を手厚くするなど一つの方法になります。	しずおか福祉 BCM研究会